

認知症をもつ方の元気スイッチ！ ～キーワードは**社会参加とつながり**～

令和6年9月13日(金) 15:00～17:00

会場：医療福祉専門学校 緑生館 リハビリ校舎
(鳥栖市西新町1428-566)

行政、地域包括支援センター、CM、介護従事者、
リハ専門職、誰でも！参加OK！

認知症になっても元気に暮らすために、必要な事は何だろう？
どうすれば、社会参加ができる？ 家族にはどう説明しているの？
社会と繋がるためには？ 地域との連携や協力はどのようにしているの？
すぐに行動できる取り組みについて聴ける充実した内容です！
ぜひ多くの方のご参加をお待ちしております！

講師：伊藤 篤史 先生（作業療法士）



プロフィール

認定作業療法士 認知症ケア上級専門士 DCM基礎マッパー
認知症の人と家族の会愛知県支部 世話人
若年性認知症本人・ご家族交流会（元氣かい）世話人代表
日本作業療法士協会 地域社会振興部 認知症班
制度対策部 介護高齢福祉課 認知症担当
愛知県作業療法士会 愛知県認知症希望大使とともに委員会 委員
名古屋市若年性認知症自立支援ネットワーク会議 委員
名古屋市認知症初期集中支援チームアドバイザー
名古屋市中区キャラバンメイト

参加費：無料（要事前申し込み：9/10（火）まで）

以下URLもしくは右のQRコードより、お申し込みください。

<https://forms.gle/cKNTVJesI twKnmfG8>



【問い合わせ先】

鳥栖地区地域リハビリテーション広域支援センター 担当：熊谷、寺崎
TEL：0942-87-5595 E-mail：sien@ryokuseikan.ac.jp

講師から一言メッセージ

若年性認知症ご本人交流会や通所介護の経験を踏まえ、現在、認知症ご本人からの発信支援を通じて、共生社会実現に向けて一緒に楽しむ支援を行っている。日々の関わりの中で何気ないことで一緒に笑い合い、できることを一緒に思いっきり楽しむ事を大切にしている。

作業療法＝リハビリテーションだが、機能向上だけでなく、今まで生きてきた生活を振り返りつつ人生の山をおりながら、今まで見えなかった景色を一緒に楽しんでいける支援をしていくことが、認知症ご本人への作業療法と考えている。

認知症の人にやさしいまちづくりには手を差し伸べる意味合いがあるが、そうではなく、認知症があってもなくても使いやすいものや、わかりやすいものが生活の中にあることで日常生活や社会生活のしづらさを解消し、不自由なく送れることになると考えている。

生活のなかで大切にしている作業を通じて自分を取り戻し、社会のなかでの居場所を得て、人とつながりながら一緒にまちをつくり、一緒に社会参加を実現しようと日々奮闘している。

皆さんと一緒に考えましょう。
多くの参加をお待ちしております！